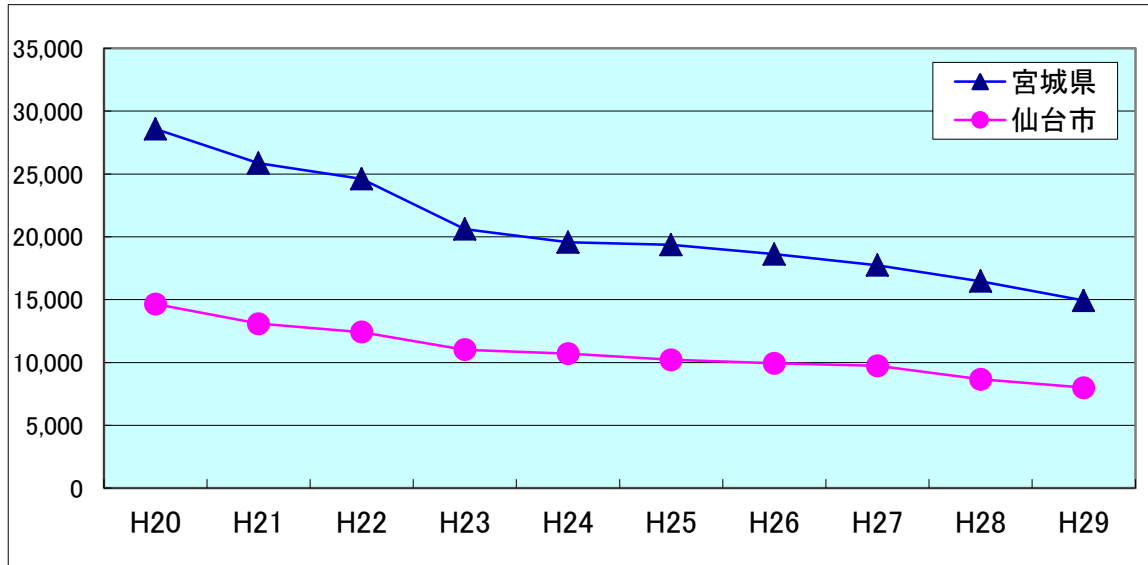


仙台市の刑法犯認知件数等の推移

1 宮城県・仙台市の刑法犯認知件数の推移

宮城県・仙台市の刑法犯認知件数については、16年連続で減少中となっている。



	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
宮城県	28,583	25,859	24,614	20,605	19,561	19,367	18,630	17,742	16,466	14,929
仙台市	14,649	13,089	12,419	11,022	10,708	10,220	9,940	9,740	8,657	7,999

※資料は宮城県警察本部から提供されたデータを基に、仙台市市民局で作成

2 仙台市安全安心街づくり基本計画における成果目標に関する数値の推移

成果目標

1. 特殊詐欺の発生件数の減少

(平成27年)219件 → (平成32年)160件以下

2. 子どもを対象とした声かけ事案等の発生件数の減少

(平成27年)251件 → (平成32年)190件以下

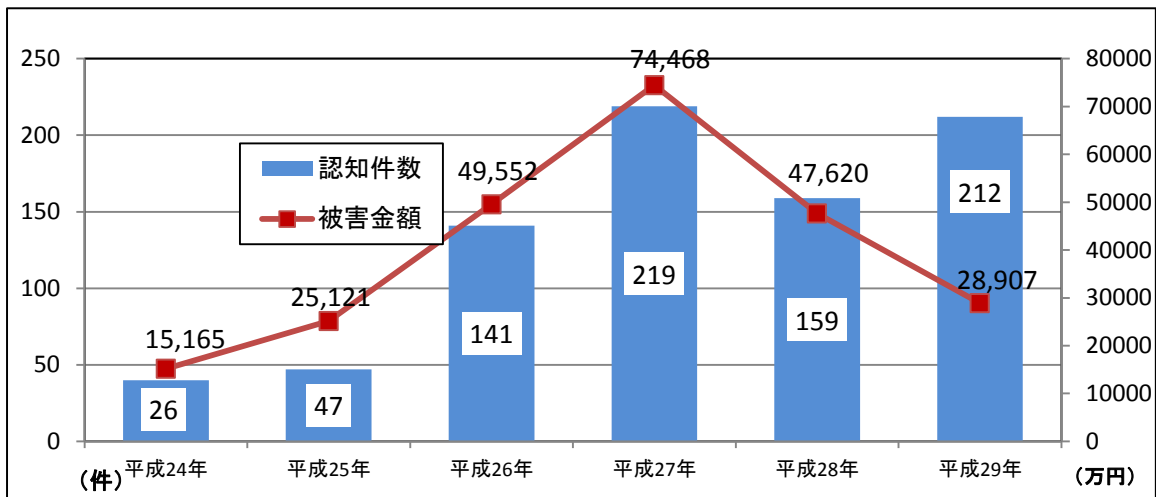
1. 市内の特殊詐欺被害状況

(分析)

- ・平成29年は、前年と比べ被害金額は減少したものの、認知件数は増加した
- ・これは、幅広い年代を対象に少額の架空請求詐欺が増えたことによるものである

(今後の対策)

- ・若年層も架空請求詐欺の被害に遭っていることから、学生を対象にした啓発活動を実施する
- ・防犯出前講座等により、最新の手口の情報を共有することで、特殊詐欺被害の未然防止に努める



2. 市内の子ども(※1)を対象とした声かけ事案等の発生状況 ※1:「子ども」は13歳未満

(分析)

- ・平成29年は、前年に比べ54件増加しており、5年前と比較すると2倍以上となっている
- ・平成28年1月から「子どもを犯罪の被害から守る条例」(宮城県)が施行されており、保護者や地域の方が敏感になったことも一因と考えられる

(今後の対策)

- ・県警や防犯協会と連携しながら、声かけ事案等が多発している地域の見守り活動を強化する
- ・通学路については、文科省からの「登下校防犯プラン」に基づいて安全対策を推進する

